第 6 回えにわ多文化共生推進市民会議　議事録

日時	令和 8 年 10 月 1 日(木)　18:30～20:00
場所	市民活動センター(えにあす内)2 階　8-1、8-2 会議室

出席者

委員　14 名(欠席:4 名)

出席者氏名	市民会議 役職	所属
青　晴海	座長	北海道文教大学　副学長
粟野　紅		和光町内会　文化部長
吉田　豊		恵み野西町内会　副会長
山崎　秀樹		恵庭国際交流プラザ　副会長
水野　みどり		恵庭に暮らす外国人と地域をつなぐ会　代表
三浦　由紀子		えにわ外国人サポートクラブ　代表
平井　梓		認定 NPO 法人　まちづくりスポット恵み野　事務局長
古岡　昇		日本医療大学　理事長補佐
村松　良太		学校法人リズム学園　あいおい子ども園　園長
齊藤　英樹		(介護)医療法人盟侑会 介護老人保健施設アートライフ恵庭　事務長
秋月　克彦		(製造業)ユニマイクロンジャパン株式会社　総務部
関　詩怡		恵庭市在住外国人(文教大・留学)
マリア・グレス・ティナ・ベルテゥ		恵庭市在住外国人(アートライフ恵庭・特定技能)
石山　香織		公募市民

アドバイザー

出席者氏名	所属
池(ちー)　炫周(ひょんじゅう)　直美(なおみ)	北海道大学公共政策大学院　教授

写真






1. 開会(中山課長)(18:30～)

- 出席者 14 名で過半数を超えているため、えにわ多文化共生推進市民会議設置要綱の規定により、会議が成立することを報告。
- 本会議は恵庭市情報公開条例第 23 条により公開する。

2. 議事(青座長)(18:32～)

(1)「恵庭市国際交流・多文化共生基本方針　骨子(案)」について

- 事務局にて、第 5 回市民会議の内容を反映し、「実施主体」「担当課」「あるべき姿」の項目を追加した。また、目指す姿のキャッチフレーズ(案)の「日本人も外国人もともに安心して暮らすまち」については、恵庭らしさを追加し「ちがいは彩り　一人ひとりが花　まちは大きな庭」に変更した。
- 本日は、キャッチフレーズ(案)に対しての感想などを中心に意見いただきたい。

(委員 A)

- よくまとめられている。キャッチフレーズも恵庭らしくてとても良いと思う。

(委員 B)

- 全体は読み込めていないが、とてもバランスよく書かれていると思う。
- 以前京極町で外国人労働者の問題があった。外国人労働者や留学生は弱い立場にあり、我々日本人は強い立場にあると思う。そういった意味では、今回は強い立場の者が多い中

で会議を進めているが、弱い立場の人を（もっと）集めて議論する必要があるように感じた。

（委員 C）
- 全体としてはよくまとめられていると思う。もう少し文字を大きくしてもらいたい。
- キャッチフレーズもとても良い。
- 町内会の会議でもこの市民会議について共有した。もっと外国人を多く呼んで話を聞いたらどうか、という意見もあったため、今後の参考にしてもらいたい。

（委員 D）
- キャッチフレーズがとても良い。イラストがあるとより良い。内容は良いが、難しいので読みにくく感じる。
- この方針について、外国人だけでなく、日本人がどう感じるかも気になる。多文化共生に関心のない日本人も巻き込んでいけるよう、キャッチフレーズのイメージをイラストにするなどして、誰にでも分かりやすく伝えられたらよいと思う。

（委員 E）
- 全体的にすばらしいと思う。
- Ⅳ②「外国につながる子どもへの学習支援」の「取組の具体例」に「イベント後のアフターフォロー」とある。アンケートを取るのか、インタビューをするのか、どうやって展開していくのか興味がある。

（委員 F）
- 実施主体や担当課が新たに加えられ、誰がどういった形で進めていくのかが分かりやすくなった。Ⅲ④「企業・学校、地域でのコミュニケーション支援」のみ担当課が書かれていないが、これは意図的に空欄としているのか。

  →（事務局）市が主体的に進めるのではなく、各団体に担ってもらう必要があるため、意図的に空欄としている。

  →（委員 F）それであれば、斜線を引いてもよいと思う。

- キャッチフレーズの「まちは大きな庭」について、「庭園」や「箱庭」など他案も考えたが、囲われているようなイメージになってしまうため、このままでよいと思う。

（委員 G）
- 外国人は日本語がわからない人も多い。病院の専門用語などは、ふりがなを振る等してやさしい日本語で表記してほしい。

  →（青座長）Ⅰ④「医療・福祉・子育て支援」の「あるべき姿」や「今後の取組」において、医療

機関での多言語について記載があるため、そういった意見も反映されていると思う。

（委員 H）

- 非常にボリュームのある内容。この短期間のなかでよくまとめていただいた。
- 神奈川県川崎市は（外国籍住民が多く）恵庭の 20 年先を走っている。多文化共生に関する方針等も定めているが、60 ページ程の内容となっており、実際に読む市民は少ないように感じる。恵庭の方針についても、外国籍住民とも共有できるよう、短くまとめてもらいたい。初見で何がどこに書かれているかわかるとよい。
- 自社での外国人向け生活オリエンテーションの際には、防犯であれば千歳警察、防災であれば消防が来て説明してくれる。恵庭市が主体となって進めるとは思うが、必要に応じて警察やハローワークなどの他機関と連携してもらいたい。
- キャッチフレーズは非常によいと思う。

（委員 I）

- 意見した部分を盛り込んでいただいた。まとめていただいた内容で問題ない。
- キャッチフレーズについては、恵庭らしさがあり、検討した成果としても分かりやすく、とてもすばらしいと思う。

（委員 J）

- 1 ページ目の「今後の見通し」に「デジタル技術・AI によるコミュニケーションの変容」とあるように、AI は非常に身近な存在になっている。外国人も様々な情報を自身のデバイスで読み取ると思うので、情報が誤って伝わらないようにする必要がある。
- I④「医療・福祉・子育て支援」について、恵庭市では、子どもの健診の際に絵本を配布する「ブックスタート」という事業がある。そこに、多文化共生に関する図書を盛り込むとよいのではないか。子どもの時に読んだものは、自身が親になってもメッセージとして残る。多文化共生の最初の理解促進につながるのでないか。
- Ⅱ③「外国人児童生徒の心理社会的支援」について、外国人は冬期間の服装など、衣服に関する情報が乏しいことがあるように思う。防寒の知恵など、外国人も情報を受け取れるような仕組みづくり（フリーマーケットなど）が必要ではないか。衣食住は重要な要素であるが、保育園や学校などでは日本のスタンダードに合わせて用意させることが多いため、そこで差別が生まれないようにしたい。

（委員 K）

- 外国人の保護者と幼稚園から、文化の違いによる相談を受けたことがある。言いにくいこともあるため、双方が気軽に相談できる場所があるとよい。
- 外国人を受け入れている企業では、上層部がしっかりしていても、現場が上手くいっておらず、いじめなどにつながるケースもある。外国人を自身の企業に受け入れるのはどういうことか、文化などを事前に学ぶ期間も設けてほしい。
- 日本人から、「外国人についてもっと知りたい」「聞く場所がない」という意見を頂いた。文化

の違いについて知れる場所があるとよい。

- 「外国人はごみのマナーが悪い」と思われがちだが、私の周りにいる外国人はしっかり分別している人が多い。ただ、ごみを出す日にちを分かっていなかったり、夜勤のため朝の回収時間に間に合わなかったりして、結果的にごみが溜まってしまうということもある。

（委員 L）

- Ⅲ④「企業・学校、地域でのコミュニケーション支援」のあるべき姿に、外国人リーダーと日本人リーダーについて触れられている。日本人リーダーについてはどうやって見つけるのか書かれていないので、ある程度想定しておいたほうがよいと思う。この方針には若い世代の人材育成についても記載されているので、日本人リーダーについても若い世代から選定できるような取組があってもよいのではないか。
- 家族帯同の増加が見込まれているが、子育て世代には子どもに関する情報の提供もリーダーに求められているのではないか。方針の個々の内容はいいと思うので、それぞれの連携や、リーダーになりうる人の具体的な人物像が盛り込まれているとよい。
- キャッチフレーズはよいと思う。

（委員 M）

- Ⅱ②「外国につながる子どもへの学習支援」と③「外国人児童生徒の心理社会的支援」の間に、「中学校でのキャリアガイダンス」を独立して記載してはどうか。現場で学習支援に携わる中で、よく聞く課題はほとんどが高校進学である。可能であれば義務教育とは別に記載した方がよいと思う。
- 高校進学については、通信制や地域みらい留学（定員に満たない学校に奨学金をもらいながら通う制度）など、色々なオプションがある。また、進学に限らず、職業訓練や専修学校など様々な道がある。外国籍の生徒にもそういった選択肢はあるはずだが、しっかりガイダンスできる人がいるのか懸念している。

（池アドバイザー）

- 方針をまとめた事務局、また委員の皆さんの貴重な意見に感謝申し上げる。
- 条例や方針は役割が異なる。条例は法律のように罰則が科せられる場合があるが、方針はあくまでガイドラインであり、違反したとしても罰則がない。
- 労働者として来日したとしても、家族がいる場合は子どもの教育が関わるなど、一人の人生にはありとあらゆることが関わっている。すべてをこの方針に盛り込むことは不可能だが、外国籍の方がなるべく安心・安全な暮らしができるように策定しているものであると理解している。
- 方針自体は行政の文書なので難しい文章になってしまうが、これを分かりやすくしたサマリーをやさしい日本語で作るなど工夫が必要である。
- 「外国籍住民」「外国人」など、表記が統一されていない。個人的には「日本人も外国人も」というフレーズに違和感がある。併記することによって壁があるように見える。「外国にルーツのある」「外国籍の」などに言葉を変えた方がよいと思う。

- この方針を作って終わりにするのではなく、市民に多文化共生や自分たちにできることについて考えてもらうことが重要である。今の時代、AIなどを活用し、コストや労力をかけず伝えることもできる。
- 人と人をつなぐ、友達になるということは難しいことではない。委員の皆さんが今までやってきたことをこれからも継続し、多くの人に知ってもらうために方針がしっかり策定されることが重要である。

（青座長）
- キャッチフレーズはとてもよいと思うが、個人的には「まちは大きな庭」よりも、「みんなで育てる恵みの庭」にした方が言葉の響きがよいと感じた。
- 本日いただいた意見を踏まえ、修正を行う。内容について事務局と座長に一任ということでよいか。

（一同承認）

(3)その他(19:45～)
- 事務局より
  - 今後、条例に基づく附属機関において、骨子に肉付けしたものを審議してもらう予定。
  - 「えにわ多文化共生フェスタ 2026」についてお知らせ

3. 閉会(20:00)